

こんにちは赤ちゃん訪問事業

問 「こんにちは赤ちゃん訪問」を民生委員が実施する目的は何ですか。また、行政と民生委員との連携体制はどうなっていますか。

答 事業の目的は、新生児の子を持つ親に「地域の見守り、支えがある。」ということを理解してもらうことです。連携体制については、民生委員が訪問した家庭で気になることがあれば保健センターに連絡し、保健師が対応することになっています。

旧中荃家住宅保存管理事業

問 旧中荃家住宅の活用についてはどのように検討しましたか。

答 旧中荃家住宅は、空調、照明、トイレなどが使用できないため、観光等に活用しにくい物件ですが、保存活用検討委員会を設置し検討してきました。そこでは、他の観光施設と連携した周遊ルートでの作成などが検討されており、本年度も引き続き検討していきます。

建設産業委員会

臭気対策

問 臭気指数の注意喚起基準値を半田市は15以下としています。畜産農家は何軒ですか。またそのことをどのように市民へ広報していますか。

答 今年の6月に市内すべての畜産施設54軒で臭気測定を行い、うち51軒は臭気指数15以下でした。15を超過した残り3軒に対しては指導を行っています。結果については、市報では広報していませんが、個別の苦情対応に限り、苦情者に測定・指導状況を伝え、理解をしていただけるよう努めています。

公園管理事業

問 自治区と結んでいる公園管理委託契約では、トイレ清掃や除草作業は何回行う契約になっていますか。

答 公園管理委託の契約書では、トイレ清掃や除草作業の明確な回数は謳っていません。除草作業については、□頭で年3回程度お願いをしています。実際の作業回数については自治区等により異なります。市民から除草につ

て苦情を頂くことも少なからずありますので、適正に管理していただけるよう今後もお願いしていきます。

問 自治区等で公園を適切に管理することが困難であれば、確実に管理が任せられる専門業者をコストが高くて選び、公園管理をするべきではありませんか。

答 市民協働による自治区等への公園管理の委託は、地域に愛着を持って管理をしていただくことが目的です。今後市民協働の観点から自治区にお願いをしていきたいと考えています。

中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計について

問 決算審査意見書の中で、監査委員より「当該共済事業のリスク管理が不十分であったことにより、約9億2千万円という多額の市税負担を強いられたことは大いに反省すべき。」との指摘がありました。率直な感想は何ですか。

答 一定の形で対策を打ったという部分においては市の事業のまとめ方としては良いとは言いませんが、最悪のシナリオではなかったと

思っています。平成31年4月1日付で事業を廃止できたことは大きな一歩と考えます。

水道事業

問 水道料金の値下げは検討していますか。

答 水道事業は黒字経営を続けていますが、□座振替のお客様への割引制度も設けていることから、値下げは検討していません。一方で内部留保も充分ではなく、今後あるべき施設の規模や必要な資金を考えた上で、それに合わせた料金を検討していく必要があると考えています。

下水道事業

問 汚水事業は赤字続きですが、いつの時点で黒字化できますか。

答 下水道事業は、下水道管の整備などに多額の投資を行っており、一般会計からの繰入金もいただき事業を継続しています。汚水事業では、お客様からの使用料単価1トンあたり119円に対して、利息償還も含む処理単価は約183円となっており、今の料金体系では黒字化は困難な状況です。

決算審査に係る反対討論

中川健一議員

1つ目は賑わいづくり事業が失敗を重ねていることです。市役所主導の賑わいづくりは市役所の能力を超えています。2つ目は無駄な大型公共施設があるため、建設費や維持管理費に巨額の無駄な税金が使われていることです。

3つ目は税金の無駄遣いのため、教育・子育て、臭気対策、文化や景観など住環境をよくする予算が足りません。

鈴木健一議員

30年度半田市一般会計決算と国民健康保険事業特別会計決算、介護保険事業特別会計決算について、反対の立場から討論します。

国は消費税10%への増税と共に社会保障の制度改悪を検討しています。

半田市は15億円を31年度に繰り越しています。市民の生活を守る予算配分を要求します。